

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成25年7月11日(2013.7.11)

【公表番号】特表2012-527867(P2012-527867A)

【公表日】平成24年11月12日(2012.11.12)

【年通号数】公開・登録公報2012-047

【出願番号】特願2011-550339(P2011-550339)

【国際特許分類】

C 1 2 N	15/09	(2006.01)
C 0 7 K	16/18	(2006.01)
C 0 7 K	14/705	(2006.01)
C 1 2 N	1/15	(2006.01)
C 1 2 N	1/19	(2006.01)
C 1 2 N	1/21	(2006.01)
C 1 2 N	5/10	(2006.01)
C 1 2 Q	1/68	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 K	38/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/02	(2006.01)
A 6 1 K	48/00	(2006.01)
A 6 1 K	31/7088	(2006.01)
G 0 1 N	33/574	(2006.01)
C 0 7 K	7/06	(2006.01)

【F I】

C 1 2 N	15/00	Z N A A
C 0 7 K	16/18	
C 0 7 K	14/705	
C 1 2 N	1/15	
C 1 2 N	1/19	
C 1 2 N	1/21	
C 1 2 N	5/00	1 0 1
C 1 2 Q	1/68	A
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 K	37/02	
A 6 1 P	35/02	
A 6 1 K	48/00	
A 6 1 K	31/7088	
G 0 1 N	33/574	A
C 0 7 K	7/06	

【手続補正書】

【提出日】平成25年5月24日(2013.5.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

以下からなる群より選択されるアミノ酸配列を含む、細胞傷害性Tリンパ球（CTL）誘導能を有する15アミノ酸未満の単離されたペプチド：

(a) SEQ ID NO: 4、2、3、7、および12からなる群より選択されるアミノ酸配列；ならびに

(b) 1個、2個、または数個のアミノ酸が置換、挿入、欠失、および／または付加されている、SEQ ID NO: 4、2、3、7、および12からなる群より選択されるアミノ酸配列。

【請求項2】

以下の特徴の一方または両方を有する、請求項1記載の単離されたペプチド：

(a) SEQ ID NO: 4、2、3、7、および12からなる群より選択されるアミノ酸配列のN末端から2番目のアミノ酸が、フェニルアラニン、チロシン、メチオニン、およびトリプトファンからなる群より選択されるアミノ酸であるように改変されている；ならびに

(b) SEQ ID NO: 4、2、3、7、および12からなる群より選択されるアミノ酸配列のC末端のアミノ酸が、フェニルアラニン、ロイシン、イソロイシン、トリプトファン、およびメチオニンからなる群より選択されるアミノ酸であるように改変されている。

【請求項3】

以下の特徴の一方または両方を有する、請求項1記載の単離されたペプチド：

(a) SEQ ID NO: 4のN末端から2番目のアミノ酸が、ロイシンおよびメチオニンからなる群より選択されるアミノ酸であるように改変されている；ならびに

(b) SEQ ID NO: 4のC末端のアミノ酸が、バリンおよびロイシンからなる群より選択されるアミノ酸であるように改変されている。

【請求項4】

ノナペプチドまたはデカペプチドである、請求項1～3のいずれか一項記載の単離されたペプチド。

【請求項5】

請求項1～4のいずれか一項記載のペプチドをコードする、単離されたポリヌクレオチド。

【請求項6】

CTLを誘導するための組成物であって、以下の(a)～(d)からなる群より選択される有効成分を含む組成物：

(a) 請求項1～4のいずれか一項記載の1種もしくは複数種のペプチド；

(b) 請求項5記載の1種もしくは複数種のポリヌクレオチド；

(c) 請求項1～4のいずれか一項記載のペプチドをその表面上に提示するAPC；および

(d) 請求項1～4のいずれか一項記載のペプチドをその表面上に提示するエキソソーム。

【請求項7】

がんの治療および／もしくは予防のための、ならびに／または術後のその再発の予防のための薬学的組成物であって、以下の(a)～(e)からなる群より選択される有効成分を含む薬学的組成物：

(a) 請求項1～4のいずれか一項記載の1種もしくは複数種のペプチド；

(b) 請求項5記載の1種もしくは複数種のポリヌクレオチド；

(c) 請求項1～4のいずれか一項記載のペプチドをその表面上に提示するAPC；

(d) 請求項1～4のいずれか一項記載のペプチドをその表面上に提示するエキソソーム；および

(e) 請求項1～4のいずれか一項記載のペプチドを標的とするCTL。

【請求項8】

HLA抗原がHLA-A24またはHLA-A2である対象への投与のために製剤化さ

れる、請求項7記載の薬学的組成物。

【請求項9】

がんを治療するために製剤化される、請求項7または8記載の薬学的組成物。

【請求項10】

C T L 誘導能を有する抗原提示細胞（A P C）を誘導するためのインビトロの方法であって、以下からなる群より選択される段階を含む方法：

(a) A P Cを、請求項1～4のいずれか一項記載のペプチドとインビトロまたはエクスピボで接触させる段階、および

(b) 請求項1～4のいずれか一項記載のペプチドをコードするポリヌクレオチドを、A P Cに導入する段階。

【請求項11】

C T L を誘導するためのインビトロの方法であって、以下からなる群より選択される段階を含む方法：

(a) C D 8 陽性T細胞を、H L A 抗原と請求項1～4のいずれか一項記載のペプチドとの複合体をその表面上に提示するA P Cと共に培養する段階；

(b) C D 8 陽性T細胞を、H L A 抗原と請求項1～4のいずれか一項記載のペプチドとの複合体をその表面上に提示するエキソソームと共に培養する段階；および

(c) 請求項1～4のいずれか一項記載のペプチドに結合することができるT細胞受容体（T C R）サブユニットポリペプチドをコードするポリヌクレオチドを含む遺伝子を、T細胞に導入する段階。

【請求項12】

H L A 抗原と請求項1～4のいずれか一項記載のペプチドとの複合体をその表面上に提示する、単離されたA P C。

【請求項13】

請求項10記載の方法によって誘導される、請求項12記載のA P C。

【請求項14】

請求項1～4のいずれか一項記載のペプチドを標的とする、単離されたC T L。

【請求項15】

請求項11記載の方法によって誘導される、請求項14記載のC T L。

【請求項16】

対象においてがんに対する免疫応答を誘導するための組成物であって、以下の(a)～(e)からなる群より選択される有効成分を含む組成物；

(a) 請求項1～4のいずれか一項記載の1種もしくは複数種のペプチド；

(b) 請求項1～4のいずれか一項記載のペプチドをコードする1種もしくは複数種のポリヌクレオチド；

(c) 請求項1～4のいずれか一項記載のペプチドをその表面上に提示するA P C；

(d) 請求項1～4のいずれか一項記載のペプチドをその表面上に提示するエキソソーム；および

(e) 請求項1～4のいずれか一項記載のペプチドを標的とするC T L。

【請求項17】

請求項1～4のいずれか一項記載のペプチドに対する抗体またはその断片。

【請求項18】

請求項1～4のいずれか一項記載のペプチドをコードするヌクレオチド配列を含む発現ベクター。

【請求項19】

請求項18記載の発現ベクターを用いて形質転換またはトランスフェクトされた宿主細胞。

【請求項20】

請求項1～4のいずれか一項記載のペプチド、請求項7記載のポリヌクレオチド、または請求項17記載の抗体を含む、診断キット。